

平成 18 年 2 月 20 日

横浜市教育委員会
教育長 伯井 美徳 様

若葉台地区小・中学校再編検討委員会
委員長 山岸 弘樹

若葉台地区の小・中学校再編について

はじめに

若葉台地区内の小・中学校（若葉台東小学校・同北小学校・同西小学校、若葉台東中学校・同西中学校）は数年前から小規模化が進み、これに伴い、多くの課題を抱えるようになりました。このため、「まちとともに歩む学校づくり懇話会」などを通じて、学校から地域に対し小規模校の現状と課題を提示する中で、解決策としての再編統合が懇話会で協議されてきました。このような状況のもとで、若葉台5校PTA連絡協議会は平成17年1月、5校の保護者に対し、「再編統合に関するアンケート」を実施しましたが、小中学校ともに90%以上の保護者が再編統合に賛成であることが明らかとなりました。

当検討委員会は、このような経過を経て設置され、平成17年5月28日から8回にわたり、小・中学校再編にかかる諸課題を検討し、今回これを取りまとめましたので、次により意見を申し述べます。

1 小・中学校の再編計画案

(1) 再編に当たっての考え方

若葉台地区の児童生徒の教育環境の維持・向上と、効果的かつ効率的な学校経営を行うため、小規模校化している若葉台地区の3校の小学校および2校の中学校を再編統合すべきである。

(2) 再編の実施方法

ア 小学校

(ア) 若葉台東小学校、若葉台北小学校および若葉台西小学校の3小学校を1校にすることが適当である。

(イ) 再編統合後に使用する学校施設は、現在の若葉台北小学校が適当である。

(ウ) 再編統合の実施時期は平成19年4月が適当である。

イ 中学校

(ア) 若葉台東中学校および若葉台西中学校の2中学校を1校に再編統合することが適当である。

(イ) 再編統合後に使用する学校施設は、現在の若葉台東中学校が適当である。

(ウ) 再編統合の実施時期は平成19年4月が適当である。

ウ その他

再編統合校については、新たにスタートする学校としてふさわしい教育環境を確保するという観点から、必要な施設・環境整備に配慮されたい。

2 教育内容に関する要望

(1) 5校はこれまでも学校行事や授業において交流を深めているが、再編統合に向け、「新しい学校を創造する」という考え方のもと、さらに交流事業を推進していただくとともに、5校で協力して新校の教育目標の設定等を進め、再編統合校への円滑な移行を促進していただきたい。また、時宜に応じてその経過を地域に公開していただきたい。

(2) 検討委員会では、これまで5校が築いてきた教育的実績に加え、「基礎・基本の習得」「小中一貫教育」「近隣の高校との連携」などに期待する意見があった。再編統合校では、5校が応募した「パイオニアスクールよこはま」の内容に基づき、5校の教育関係者が地域の期待やニーズも踏まえて、教育内容の充実に取り組むとともに、教育委員会も教職員の配置など、十分な支援を行うよう配慮されたい。地域としても、引き続き協力していきたい。

3 通学区域変更案

(1) 小学校

現在の若葉台東小学校、若葉台北小学校および若葉台西小学校の通学区域を一体として再編統合校の通学区域とすることが適当である。

(2) 中学校

現在の若葉台東中学校および若葉台西中学校の通学区域を一体として再編統合校の通学区域とすることが適当である。現在若葉台東中学校と都岡中学校を選択できる特別調整通学区域の設定がされている上川井町の一部については、引き続き再編統合中学校と都岡中学校との特別調整通学区域とすることが望ましい。

(3) 他地域からの児童生徒の受け入れについて

若葉台地区は今後も児童生徒数が減少傾向にあるため、他地域からの児童生徒の受け入れを前提に、通学区域特認校制度の活用など検討していきたい。横浜市においても、今後時宜に応じて通学区域の変更等を検討されたい。

4 統合校の学校名

統合校の名称は、小学校は「若葉台小学校」、中学校は「若葉台中学校」とすることが適当である。

5 通学安全についての要望

今回、各小・中学校のPTAが中心となり現地を確認したうえで、検討委員会として「若葉台小学校」の通学路素案を決定した。

若葉台地区は、開発に当たって歩車道分離（立体交差）、自転車・歩行者専用道路などが計画的に整備され、また入居後は地域住民の取り組みによりガードレールや横断歩道の設置などが進み、他地区に比較すると交通安全上の配慮が行き届いたまちとなっているが、昨今の社会情勢からは、防犯・不審者対策など、多面的な視点で児童・生徒の通学安全を確保する必要があると考えている。

そのため、自転車歩行者専用道路沿いの樹木のせん定および外灯の改善が必要と考えているので、今後、通学路素案をもとに、統合後の通学区域の児童、生徒の登下校を想定し、3小学校および2中学校の学校関係者や地域の代表により、通学上の安全について引き続き検討したい。詳細な要望は、旭区役所土木事務所、警察等の関係機関に申し入れを行うが、その際には、再編統合という事情も考慮し、教育委員会、区役所等横浜市関係機関には最大限の協力をお願いしたい。

6 統合により生じる土地・建物の活用に関する要望

検討委員会が出された要望は、別表として記載するが、跡活用施設の選定や運営等詳細については、今後、地域であらためて「跡地活用検討委員会」（仮称）を設け、検討したい。その際は、必要に応じ区役所および市関係部局のご協力をいただきたい。

7 その他の要望

新たな「若葉台小学校」と「若葉台中学校」には、これまで若葉台5校が地域住民とともに築いてきた教育的成果と伝統を受け継ぎ、「まちとともに歩む学校」として新たな歴史を築いていくことを強く希望する。

(1) 私たち地域住民は、1980年の若葉台東小学校開校以来今日まで、「学校づくりはまちづくり、まちづくりは学校づくり、まちと学校は一体である」とのスロー

ガンのもとに、5校とともに歩み、ともにまちづくり・学校づくりを進めてきた。5校は20年余にわたり、教育機関であるとともに、まちの文化センターとして大きな役割を担ってきた経緯がある（若葉台連合自治会20周年記念誌ダイジェスト版「今日まで そして明日から」参照）。学校としての機能を一旦終える5校については、各校がまちとともに歩んできた歴史と成果を、まちのランドマークとして可能な限り記録・保存、公開されるよう格段のご配慮をお願いしたい。

(2) 新しい学校については卒業生や地域住民すべてが「心のふるさと」と感じられる、開かれた学校づくりを推進されるよう期待する。

おわりに

当検討委員会開催期間中、保護者・住民の一部に「検討に時間をかけるべきである」という意見や再編統合校の設置場所に関する意見があったが、再編統合の実施時期については現在5校が抱える課題の早期解消を図るために、また再編統合校の設置場所についても通学距離や施設整備、教育内容を総合的に勘案して判断したことを申し添えたい。

若葉台は、上記のように「学校づくりはまちづくり、まちづくりは学校づくり」を、学校・家庭・地域の共通スローガンとして掲げ、学校開放や学校施設の充実などに、ともに力を合わせて取り組んできた。地域の「夏まつり」や「文化祭」には学校が積極的に協力し、地域からは学校にゲストティーチャーを派遣するなどの交流がとりわけ盛んで、地域住民と5校の児童・生徒が共同で句集や高齢者の戦争体験を記録した文集を発行するなど、ユニークな取り組みもある。

今回の再編統合を契機に、私たちは引き続きこのスローガンを基本理念として、さらなる学校づくり・まちづくりを進めていこうと考えている。

また、今後、教育内容や通学安全などの面においても、保護者も含め、地域のより一層の協調体制を強めていきたいと考えている。

参 考

【委員名簿】

【検討経過】

【統合により生じる土地・建物の活用に関する要望】

【委員名簿】

	所 属	役 職
委員長	若葉台連合自治会	会長
副委員長	若葉台体育指導委員連絡協議会	代表
副委員長	若葉台西中学校 PTA	会長
委員	若葉台連合自治会	事務局長
	若葉台第一自治会	会長
	若葉台東自治会	会長
	若葉台二丁目南自治会	会長
	若葉台北自治会	会長
	若葉台中央自治会	会長
	若葉台とちのき自治会	会長
	若葉台ゆりのき自治会	会長
	若葉台西自治会	会長
	若葉台もみじ自治会	会長
	若葉台あかね自治会	会長
	若葉台青少年指導員連絡協議会	代表
	若葉台地区社会福祉協議会	副会長
	(財) 若葉台管理センター	事務局長
	若葉台連合自治会	広報担当理事
	若葉台東小学校 PTA	会長
	若葉台北小学校 PTA	会長
	若葉台西小学校 PTA	会長
	若葉台東中学校 PTA	会長
	若葉台東小学校	校長
	若葉台北小学校	校長
	若葉台西小学校	校長
	若葉台東中学校	校長
若葉台西中学校	校長	

【検討経過】

	日 時	検 討 内 容
第1回	平成17年5月28日(土) 14時から	現状と課題 見直しの考え方と方策 規模適正化によるメリット 再編の検討(学校規模・通学時間・教育内容)
第2回	平成17年7月16日(土) 14時から	再編の検討(教育内容・施設整備の可能性) 現在の5校の特色
第3回	平成17年9月3日(土) 14時から	跡施設転用事例 再編の検討(教育内容・設置場所) 再編実施時期の決定 設置場所の候補校選定
検討委員会 報告会	平成17年10月10日(月) 10時から	これまでの検討経過の報告 質疑応答
第4回	平成17年10月15日(土) 13時から	寄せられた意見の検討 再編の検討(施設整備の可能性・通学距離) 再編計画案の決定
第5回	平成17年11月20日(日) 14時から	寄せられた意見の検討 意見書骨子の提案、検討
第6回	平成17年12月18日(日) 10時から	通学路案の検討 意見書の検討
検討委員会 説明会	平成18年1月29日(日) 10時から	これまでの検討経過の説明 質疑応答
第7回	平成18年1月29日(日) 14時から	寄せられた意見の検討 意見書の検討
第8回	平成18年2月18日(土) 16時30分から	意見書まとめ

参考 「若葉台地区小・中学校再編検討委員会設置準備委員会」での検討経過
(参加者:「まちとともに歩む学校づくり懇話会」メンバー、各小中学校PTA会長
各小中学校長、教育委員会事務局学校計画課、旭区役所地域振興課)

	日 時	内 容
第1回	平成17年3月18日(金) 17時から	検討委員会設置に向けた情報交換
第2回	平成17年4月13日(水) 19時から	検討委員会委員、運営方法素案の決定

【統合により生じる土地・建物の活用に関する要望】

- ・ 若葉台東小学校に設置されているコミュニティハウスの存続
- ・ 若葉台東小学校、若葉台北小学校、若葉台西小学校における地域防災拠点の維持・継続
- ・ 若葉台東小学校および若葉台西小学校の医療救護拠点、地域防災拠点機材庫の存続
- ・ 現在行われている学校開放事業の新展開の検討
- ・ 子育て、障害児者、高齢者、福祉ボランティアなどが活動し、協働する施設の設置
- ・ 若葉台スポーツ・文化村（若葉台スポーツ・文化推進協議会）の事務所機能の設置のほか、グラウンド・体育館の利用
- ・ 校章や校旗など若葉台地区5校の歴史を保存するスペースの設置
- ・ 演奏会などが開催できる多目的ホールの設置